

【学校通信「はぐま」】

本校では年に4回、学校通信「はぐま」を発行しています。時季に応じて学校の教育活動の様子をお伝えしています。平成29年度の1学期も例年にならい、いくつかの学校行事を行いました。例えば、3年生の進路講話、交通安全講話、情報モラル教育、防災非難訓練、公開授業、防犯講話、修学旅行、遠足、これらは当HPにアップされている学校通信「はぐま No.164号」に掲載してありますので、是非ご覧ください。また、PTA 活動の報告として大学見学会、高P連東海大会についても掲載してあります。

部活動に熱心に取り組んできた多くの3年生にとって最後の大会となった高校総体等の結果も「はぐま」に載っています。

なかでも弓道部男子団体が愛知県で優勝し、8月1日から仙台市で行われる全国大会に出場することができたことはとても嬉しい話題です。愛知県の代表として堂々とプレーしてほしいと思います。



野球選手権大会 応援風景 (7/2)

また、学年主任、分掌主任から夏休みを迎えるに当たっての熱いメッセージもありますので、ご一読ください。

【1学期終業式】7月20日(木)

1学期の終わりにあたり、「学ぶ」ということについて、蘭学医・緒方洪庵の開いた「適塾」に学んだ福沢諭吉らを例に次のような話をしました。

緒方洪庵という蘭学医をご存知ですか。江戸時代の末期を生きた人です。

(洪庵について皆さんが授業で学んだことで関係があるとすると、生物基礎の免疫の分野で学ぶワクチン療法、天然痘の予防接種となった種痘を広めた医者でもあります。)

緒方洪庵は、蘭学塾「適塾」を今から約180年前、江戸時代末に大阪に開きました。明治維新とともに閉じられるまでの30年間に、全国から1000人ほどの血気盛んな若者たちがここで学びました。

適塾は、大阪大学の医学部の前進で、現在、大阪のオフィス街にあります。町屋風の建物で、中を見学することができます。大きさは本校の武道場くらいで、一部2階建てになっています。

福沢諭吉も適塾で学んだ若者の一人です。諭吉は二十歳の頃、入塾しました。成績優秀で適塾の塾頭にもなりました。年齢はちょうど今の大学生くらいでしょう。福沢諭吉はご存知

のように、「学問のすすめ」を書いた人、一万円札にその肖像が使われています。慶応義塾を創立し、教育と著作活動を通じて明治の日本人の意識の近代化に多大な貢献をなした人です。

塾生たちの勉強ぶりはすさまじかったようで、福沢諭吉にして、自伝の中で「凡そ勉強ということについてはこのうえにしようもないほどに勉強した」と述懐しているほどです。

なぜここまで激しく学んだか・・・。「一旗挙げて有名になろう。」ではありませんでした。純粋に知らないことを知りたい。

高い志をもつ熱き若者である塾生たちにとって、オランダを通じてもたらされる最新の知識、技術には一々驚くものがあったのです。関心の赴くままに、各種の本をどん欲に読んだようで、その基礎となったのは、適塾で行われていた蘭書の会読でした。判らぬ言葉の意味を探して、適塾に一冊しかなかったツーフ辞書を奪いあうように利用したため、辞書をおいた部屋はツーフ部屋と呼ばれ、明かりが消える間がなかったといわれているようです。

適塾を訪れると「心の底から学びたい」、そんな気持ちにしてくれます。ぜひ、皆さんに足を運んでもらいたいし、何年か後に皆さんが家庭をもって、皆さんの子どもが小学校高学年くらいから中学生になり、歴史に興味を持ちはじめたら家族で訪れてください。そして歴史の背景を語ってあげてください。

2年前の春に訪れた時です。館内にあった自由ノートには「今年、慶応義塾大学に入学しました。福沢諭吉先生がどのようなところで学んだのか、感じたくて訪れました。」と書かれていました。

「人にあこがれる」。これも学びの動機になりますね。

人は学ぶ前に、つい、こんなことを勉強して何になるの、思うことがあります。しかし、学ぶことの意味は、実は学んだ後にしかわかりません。学んでいくと、世界には、自分が知らない領域が「想像をはるかに超えて広がって」いることに、これまでろくに知らなかったと思い知ることに、なります。だから、知りたい、学びたい、となっていくのです。

適塾の塾生もきっとそうだったのではないのでしょうか。

したがって、やる気が出たらやるのではなく、まずは自ら学ぶ時間を課して、やることが大切。学習時間が少ない、または十分ではない、そんな皆さんは自分で自分に強いること、自らを律すること、そこから世界が広がっていきます。少し努力が必要ですが、きっと新たな自分、新たな世界に出会うことができると思います。

1学期が今日で区切りとなり、40日間の夏休みとなります。3年生にとっては大学等への進学のための受験勉強、そしてこれが5年後、10年後に社会へ出たときに求められる力をしっかり付けることに繋がります。

また、1、2年生の皆さんが参加するラーニングフェスタ、篤志プロジェクトは、それぞれ学校では得られない学びの機会となります。是非意欲的に取り組んで自分を高めてください。